

1月の人権教育への取り組み

【人権教育月別年間目標】

- ・人権集中学習を通して気づき学んだことを振り返り、今後の日常生活においても仲間への思いやりある行動をしよう。
- ・JRC活動について知り、国際社会への視野を広げよう。

- 人権集中学習指導を一時的な指導で終わらせることなく、常時指導につなげていく。
- 学級指導を中心に授業、委員会活動や学年集会などさまざまな場面を通じて継続的に人権感覚を磨き、実践させる。
- JRC委員会の活動に協力することによって、広く社会貢献する機会とする。

【具体的な場面を通して】

○クラスで

- ・「人権メッセージ」を振り返り、さらなる定着に向けて12月に実施したアンケート結果をもとに、実践できたこと、まだ不十分なことを確認する。そして、「人権メッセージ」について具体的な行動を考えさせる。

<人権スローガン・人権メッセージ>

◆みんなで作ろう 笑顔の輪

- ◇誰にでも自分から明るいあいさつをしよう
- ◇素直な気持ちになって“ありがとう”を言おう
- ◇みんなといっぱい会話をしよう
- ◇思いやりを持ってみんなに優しくしよう

- ・赤十字やJRCの歴史、目的、活動内容について道徳の副読本等の資料から学ばせる。また、自分たちもJRCの一員である自覚を持って、他の人のためにできることに取り組む姿勢を持たせる。

○委員会で (すでに行われている内容です。)

- ・生徒会本部
生徒会活動の目標に「思いやりある行動」を盛り込んで実践していく。
- ・生徒会本部 (クリーンウエズデー)、整美委員会、緑化委員会など
学習環境を整えることで愛校心を育てたり、落ち着いたのある学校をつくったりすることができる。それが仲間を大切にすることや思いやることにつながる。
- ・生活委員会 (あいさつ運動)
あいさつを通して心を通わせあい、お互いを理解し合うための土台作りとする。
- ・JRC委員会
<プルタブ集め> …車いすを贈ることを目標に実施。
<エコキャップ集め>…アフリカの子どもたちにポリオワクチンを贈ることを目標に実施。
これらの活動を通して障害者理解、国際理解を深めさせ、他を思いやる気持ちを育てる。
- ・給食委員会
作ってくれる人の立場に立って残さず食べたり、食べ物への感謝の気持ちを持ったりすることを実践させる。
- ・保健委員会
レッドリボン運動から、病気やけがの予防とともに病気やけがをした人への思いやりや気遣いなどについて、「保健だより」等を通して生徒に投げかける。